

「論語と算盤」輪読会

担 当：原田 勉教授

スケジュール：全11回 5月～8月 毎週月曜日（祝日を除く）

5/20、27、6/3、10、17、24、7/1、8、22、29、8/5

時 間：19:30～21:00

実施方法：Zoomによるオンライン

対 象：関心がある方ならどなたでも

定員・最少催行人数：定員20名 最少催行人数5名

*最少数に満たない場合は開催を見送ることがございますので、ご了承ください

参 加 費：現代経営学研究所「年会費型」賛助会員：12,100円（税込）

現代経営学研究所「都度払型」賛助会員・非会員：24,200円（税込）

*課題図書はご自身で購入願います。開講確定しましたら早めにご準備ください

申 込 方 法：現代経営学研究所WEB掲載の申込事項をメール本文に明示して、件名を「論語と算盤
輪読会 参加希望」として、事務局（bi@riam.jp）宛てにお申し込みください

申 込 締 切：2024年5月7日（火）*定員に達し次第、締め切ります

課 題 図 書：渋沢 栄一（著）、守屋 淳（訳）ちくま新書『現代語訳 論語と算盤』筑摩書房、2010年

内 容 紹 介：

渋沢栄一の『論語と算盤』は、深い親交のあった二松学舎大学創設者である三島中洲の「義利合一論」と共通する考え方が説かれています。儒学には、事業、商売をする上で倫理は邪魔になるという考え方や実業を蔑視する傾向がありました。しかし、儒学の「五常」といわれる「仁義礼智信」の価値観と利益の追求は矛盾せず、むしろ一致することを説くものです。

今回は、企業の社会的責任やコンプライアンスなどが重視される昨今、日本の資本主義生成期で唱えられた『論語と算盤』に立ち返り、利益追求と倫理との関係について検討していきます。

初回は三島中洲の「義利合一論」を原田教授が解説し、参加者の皆さんと議論します。2回目以降は、課題図書を1章ずつ、じっくり議論しながら読み解いていきます。

5/20：三島中洲の「義利合一論」について

7/ 1：第 6章 人格と修養

5/27：第1章 处世と信条

7/ 8：第 7章 算盤と権利

6/ 3：第2章 立志と学問

7/22：第 8章 実業と士道

6/10：第3章 常識と習慣

7/29：第 9章 教育と情誼

6/17：第4章 仁義と富貴

8/ 5：第10章 成敗と運命

6/24：第5章 理想と迷信



お問い合わせ：現代経営学研究所 e-mail: bi@riam.jp ☎ 078-805-1623（平日10:00～16:00）

*お問い合わせ・お申し込みいただき、1週間経過しても担当者より返信がない場合は、メール不達の場合がございますので、お手数ですが事務局までお電話ください